

請 願 文 書 表 (令和5年12月20日定例会提出)

請願第6号

奈良市総合福祉センター本館の廃止撤回を求める請願書 (行財政改革及び公共施設等検討特別委員会付託)

令和5年11月22日受理

請 願 者 ●●●●●●●●●●

奈良市心身障害者児福祉協会連合会

会長 安井清悟 外6名

紹介議員 宮池 明

今般、奈良市行政当局から令和7年3月末日をもって奈良市総合福祉センター（以下総合福祉センター）の閉鎖が10月4日と5日に口頭にて通告を受けました。その後、10月24日には閉鎖撤回をお願いするために奈良市長と面談いただきましたが、話は平行線をたどったことから奈良市議会に陳情書を提出させていただき現在に至っております。

奈良市行政当局は、総合福祉センターの本館機能を廃止して奈良市にある4か所の老人福祉センターにその機能移転を図ることで、地域分散型の障害福祉サービスを新たに展開したいとのことです。しかし、長きにわたり障害者福祉の中心的な役割を果たしてきた総合福祉センターを廃止し単純に分けてしまうことが、地域福祉推進につながり、それが障害者福祉の向上につながることは考えられません。総合福祉センターの事業を見直し、センター機能を強化しながら機能分散を図っていくことこそ地域福祉も推進し、障害者福祉の向上につながることを考えております。

休日歯科応急診療所や親子通園施設みどり園の移転も、私どもは移転が決定されてから行政当局から通知されたことで、寝耳に水の話でございました。空いた施設（部屋）の今後の使い道などについても何ら議論されることなく時間だけが過ぎていきましたので、私どもから行政当局に対し、「奈良市総合福祉センター在り方検討会」の会議開催を再三お願いして、昨年末に初会合を持ち、今年に入りやっと本格的な議論が飛び交い、今後の福祉センターの在り方の形がやっと見えてきた矢先、廃止の話がございました。新たに展開してもらうことが望ましいとしていた福祉サービスの内容は、先日提出した陳情書に書かせていただいたとおりです。これらのサービスは、奈良市総合福祉センターの新しい事業として行った上で、市内4か所の老人福祉センターでも同様に展開していただければ障害者福祉の向上に値することは間違いのないことと考えています。

温水プールなども改修していただき復活できれば、地域の子供たちや障害を持った方々や高齢の方のリハビリにもつながり、体育館と並んで市民の皆様の憩いの場になるとも思います。世間ではパラリンピックをはじめ障害者スポーツも脚光を浴び、障害者にも光が当たってきたことは大変うれしい話です。私たち障害者当事者団体の市障連は、奈良市の障害者福祉の発展のため、これからも努力を惜しまない決意でございます。

どうか市議会の皆様方で奈良市総合福祉センター本館の廃止撤回及び機能強化に向けたためのお力添えをいただきたく、ここに請願申し上げます。